

シグマ研究委員会核データ専門部会 F P 核データワーキンググループ
共鳴と積分テストグループ会合議事録

日 時： 平成3年9月25日（水） 13:30～17:30
9月26日（木） 9:10～17:30

場 所： 日本原子力研究所 東海研究所 研究2棟 304室

出席者： 中川、中島（原研）、瑞慶覧（日立）、松延（住友原工）、
川合（東芝）、渡部（川重）

議 事

1. REPSTORファイル作成の内容と手順検討

評価レポートに盛り込む表は、評価結果とともに実験データも含む形式とし、実験データの範囲について議論した。JENDL-2で菊池氏のMレポートのある核種は、今回特に修正のあった核種に限定するが、古い評価にも用いたデータもマージする。一方、JENDL-3で新規に現れた核種の多くがMughabghabのデータをベースとしており、その基になった実験データを格納する事とした。ただし、その対象は、EXFORに格納されているものに限定する。（該当するEXFORのデータは、入手済みであり、そのリストが中川委員から担当者に配布された）。また、JENDL-2対象核種では、Mughabghabのデータを含まないものがだいぶあるが、自分でデータを入力する事はしない。現在BNLに要求しているデータが間に合った時点で考える。

上記の作業の手順を整理してまとめ、会議後配布した。

2. 共鳴パラメータ評価レポート作成集中作業

前回（8月29、30日）に引き続いて共鳴パラメータの評価レポート作成の為、REPSTORファイルの完全化のための作業を行った。その内容は以下のとおりである。

瑞慶覧委員： Ba-Tbについて、JENDL-2関係の実験データは全て変換した。また、JENDL-3新規のデータについても追加実験データを入力した。今後、numbering 作

業とJENDL-2, JENDL-3データの処理(ETOREP, REREPNUM)を行う。

松延委員：As-Sr, I-Csについて、JENDL-2での評価に用いたデータのマージを終了した。また、原研などでの新規の実験データも格納した。JENDL-2, JENDL-3のデータの処理が進行中である。

中島委員：Pd-In, Sbについて全て終了し、報告書用の表が完成した。

川合委員： γ -Rh, Sn, Teについて、今回の評価に用いた実験データとJENDL-3のデータの処理は完了した。また、新規の核種は、Mughabghabのデータが主体となるため、そのベースである実験データをEXFORから落としてREPSTORファイルへの編集作業を進行中である。

3. 積分テストの集中作業

JENDL-3のFPデータの積分テストの結果をまとめる作業を行った。内容は、計算結果を照射中性子場の平均スペクトルで整理する事、また、弱吸収体の場合、酸素の影響について調べた。結果の一部は、秋の大会で発表する。

4. その他

次回会合：11月21、22日 於原研東海

議題：レポート作成と積分テスト集中作業

その他

以上